

■建学の精神

本学の建学の精神「心技一如」は、母体である学校法人純美禮（すみれ）学園の創設者である中野富美先生の理想とすべき教育方針を四文字で表現した言葉です。「心技一如」の「心」とは心のはたらきとして品性を表し、「技」とは生きる術（すべ）としての能力をさしています。私たちが備えるべき品性と能力は、車の両輪のようなものであり、まことの教育とは、人格教育と実学教育を両輪とすることによって、はじめて実現できることを表しています。

この建学の精神を基に、本学の教育は、豊かな教養と実践的な専門の知識と技術を培い、社会の発展と文化の向上に貢献する人を育成することを目的としています。

建学の精神	心技一如（しんぎいちによ）
教育理念	建学の精神である「心技一如」の理念に基づき、人格教育と実学教育を相互に涵養する。
教育目的	豊かな教養と実践的な専門の知識と技術を授け、社会の発展と文化の向上に貢献する人を育成する。
教育目標	豊かな教養と専門性の高い知識や技術を培い、優れた実践力を有した人の育成をめざす。
基本方針	建学の精神である「心技一如」に基づき、品性と能力を車の両輪のように例え、人格教育と実学教育を融合させることによって、一人ひとりの学生の学ぶ力を引出すことをめざす。
行動指針	「よい教育」の実践に努め、教職員は一体となって学生と真剣に向き合う教育支援に取り組みます。